

医療 IT 技術の革新，データサイエンスの技術の発展によって、Evidence-Based Medicine (EBM) のための研究方法も、この 15 年ほどで飛躍的に発展している。プライマリケアに携わる臨床医も、BMJ 誌などに報告される最新のエビデンスを正しく理解し、活用するために、これらの研究方法に関する基本的な知識は必須のものとなる。本講演では、特に、ネットワークメタアナリシスと Real World Data という 2 つの新しい題材を対象として、プライマリケアに役立つ「エビデンスの読み解き方」について解説を行う。まず、ネットワークメタアナリシスは、既に確立されている複数の有効な治療法を系統的に比較するための研究手法である。近年では、診療ガイドラインの作成等にも広く利用されている。一方、Real World Data は、医療 IT 技術の革新によって集められるようになった現実世界での大規模データを指す概念である。臨床試験のような実験的条件とは異なる、より実臨床に近い条件下での医薬品等の有効性・安全性についてのエビデンスを与えるものとなる。本講演では、骨粗鬆症、糖尿病、精神疾患など、プライマリケアの実践に馴染みのある疾患の治療の事例を通して、これらの研究方法についての平易な解説を行う。

略歴

- 2023 年 4 月 - 現在情報・システム研究機構，統計数理研究所，教授
- 2016 年 4 月 - 2023 年 3 月情報・システム研究機構，統計数理研究所，准教授
- 2012 年 4 月 - 2016 年 3 月情報・システム研究機構，統計数理研究所，助教
- 2011 年 12 月 - 2012 年 3 月日本学術振興会，特別研究員（PD）（京都大学）委員
- 2023 年 6 月 - 現在日本疫学会，代議員
- 2022 年 11 月 - 現在一般社団法人 社会健康科学研究機構，顧問
- 2019 年 5 月 - 現在認定 NPO 法人 健康医療評価研究機構，上席研究員
- 2019 年 4 月 - 現在日本リウマチ学会，臨床研究推進委員会委員
- 2019 年 1 月 - 現在日本計量生物学会，評議員
- 2018 年 12 月 - 現在日本糖尿病・生活習慣病ヒューマンデータ学会，評議員
- 2016 年 2 月 - 現在鳥取大学医学部附属病院，教育研究顧問
- 2015 年 11 月 - 現在日本小児がん研究グループ，生物統計委員会委員